

平成28年度 北海道小学校長会
第5回 理事研修会
対策部 活動報告



平成28年度の対策部の活動について、ご報告する。お手もとの資料「平成28年度対策部活動報告」をご覧願いたい。(資料は次頁に掲載)

まず、「会員必携」の編集・発行についてである。今年度から「組織の在り方委員会」の提案を経て形・大きさ・内容が変わったが、全道各地区、各部、関係機関の協力を得て、予定通り5月に全会員に配付した。従来の資料編は道小HPに掲載する形を取っている。

次に、「全道小学校校長会 会長研修会」についてである。6月24日(金)にホテルライフオート札幌に於いて実施した。これは計画・準備・運営を担当した。各地区の皆様方から事前にお知らせいただいた話題から、共通話題を四つとその他の項目を含め、五つの観点(「学力向上に対する取組」「管理職他管交流」「新たな人事評価制度」「コミュニティ・スクールについて」、そしてその他として、「新指導要領の準備過程で」「広域人事」)で交流を行った。各地区会長より、地区の実情報告をもとに、活発かつ具体的な意見交流が行われ、各地区が抱える課題等に対する取組について共通理解を図ることができた。会長研修会の記録は、9月30日発行の道小情報特別号に掲載した。

次は「全道調査」の実施についてである。5月に「広域人事に関する調査」を該当校の校長及び異動者本人に実施し、全道会長研修会の参考資料及び今後の資料として理事研修会等において結果を報告した。また、この調査結果は、道教委への要望事項の基礎資料としてとても重要なものとなっている。さらに、「退職校長の動向等の調査」も実施している。その調査結果を全道会長研修会の記録と同様に9月30日発行の道小情報特別号に掲載した。

最後に、「文教施策懇談会・各課懇談会」の取組である。他部と同様に、道中・道公教と連携を図りながら業務を遂行した。

続いて、平成29年度活動計画案についてお話しする。基本的には、平成28年度と同様の活動を考えている。

活動方針として、学校経営上の諸問題や教育条件についての調査・情報収集・準備・調整等を行うことと、道小の組織強化、関係団体との連携推進、身分の確立や勤務条件等の整備と教職員の福利厚生の充実を目指した状況把握や条件整備を図ることである。

具体的な業務内容であるが、一つ目として「会員必携」の編集・発行を行う。二つ目は「全道小学校長会 会長研修会」の計画・運営を行っていく。三つ目は「組織の実態調査」である。「退職校長の動向等調査」や「広域人事に関する調査」など、組織の課題に応じた調査や、「全連小から依頼される調査」、「道小の実情に合わせた全道調査」などを、各地区、道教委、関係機関の協力を得ながら行う。四つ目は他部同様に「文教施策懇談会・各課懇談会」に向けての取組である。

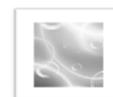
最後になるが、現在、来年度の全道会長研修会の共通話題について検討中である。そして、新年度早々から平成29年度の全道会長研修会及び広域人事に関する調査について、各地区への依頼事項があるので、ご確認の上、準備をお願いすることになる。依頼の詳しい内容につきましては改めてお知らせする。

以上、対策部の平成28年度活動報告と平成29年度の活動計画案についてお話しした。

資料



平成28年度 対策部活動報告



～活動方針～

- (1) 学校経営上の諸問題や教育条件についての国や道・教育局に対する要望活動のための調査・情報収集・準備・調整等を行う。
- (2) 会員の身分の確立、勤務条件等の整備充実、組織の強化に必要な状況把握等を行い、他団体との連携強化に努める。
- (3) 教職員の安定した生活のために福利厚生 of 充実を目指し、状況の把握と条件整備を図る。

～業務計画内容に基づき報告～

(1) 「会員必携」の編集・発行

「道小組織検討委員会」の提案を受け、これまでの内容を見直し、道小の組織、活動計画、会則等の必要事項を精査し、全道各地区、各部、関係機関の協力を得て作成。6月当初に全会員に配付された。関係諸団体等の資料編に関しては、今年度からHP上で掲載している。

(2) 「全道小学校長会 会長研修会」の計画・運営

平成28年6月24日(金)「ホテルライフオーソ札幌」に於いて実施し、吉川対策部長の司会で進められた。今年度の共通話題は次のとおりである。

- ① 学力向上に対する取組について
- ② 管理職他管交流について
- ③ 新たな人事評価制度について
- ④ コミュニティ・スクール(CS)について
- ⑤ その他 ・新指導要領準備過程で ・広域人事に関わって

この共通話題は、平成28年2月に各地区事務局長より共通話題の候補をご報告いただき、事務局で決定したものである。

6月の会長研修会の開催に当たり、各地区より共通話題ごとの実情報告をいただき、資料として当日配付した。新年度早々からの取組であったので各地区のご協力に感謝申し上げる。

研修会においては、各会長から地区の実情報告をもとに、共通話題ごとに、より具体的な意見交流が行われ、各地区が抱える課題に対する取組について、共通理解を図ることができた。記録は、「道小情報特別号(平成28年9月30日発行)」に掲載した。

(3)「全道調査」の実施

5月14日に、広域人事に関する調査アンケートを全道の該当校の校長と異動者本人に対して実施した。(調査対象者157名中153人から回答 回収率97.45%)全道会長研修会の参考資料及び今後の資料として理事研修会等において結果を報告した。

また、退職校長(平成28年度3月31日退職者167名中125名より回答 回収率74.9%)の動向等の調査も実施した。退職校長の動向等の調査は、今後に生かせる資料となるよう、項目等を精査し実施した。調査結果は、全道会長研修会の記録と同様に「道小情報特別号(平成28年9月30日発行)」に掲載した。

(4)「文教施策懇談会・各課懇談会」の取組

文教施策懇談会には、対策部長と副部長、幹事が出席した。各課懇談会には、第3分科会に担当副会長・対策部長・副部長・幹事が出席した。今年度はへき複連指名理事も加わり、「特別支援教育に関する条件整備」「へき地教育における現状と課題」の2つのテーマを持った。道中との連携により業務を遂行。今年度は道小・道中が2本ずつ提言。道小対策部副部長が運営、担当副会長が開会あいさつを行った。提言2本は道特協指名理事(欠席のため対策部長が代理提言)、へき複連指名理事が担当。

(5)「道小小樽大会」における業務

分科会運営業務を行った。

(6)その他

全道会長研修会は、全道各地区の貴重な情報交換の場であるとともに、道小としての道教委への要望や施策提言の根拠となる重要な話し合いの場でもあり、その意義が一層深まってきている。今後も、教育情勢の吟味をしながら、よりよい内容・企画を行い会議の更なる充実を目指したい。次年度からは、事務局幹事が全員出席となる予定だ。そのことにより、当日の運営・記録に関しては対策部だけの動きでは苦しい部分もあるので、新たな方法も考えていきたい。

全道調査において、この数年広域人事と退職校長の動向等の調査を実施してきたが、管理職の他管交流などの新たな教育情勢の動きを考えながらも、現調査の重要性と注目度が高いため継続して調査活動は行っていきたい。今年度広域人事のまとめに関しては、全道会長研にて報告、報告書を道教委に直接手渡しを行った。退職校長アンケートについては道小情報特別号(28年9月30日発行)で報告。両調査とも道通記事として取り上げられている。